

平成25年度 一般コミュニティ助成事業

財団法人 自治総合センターの平成25年度一般コミュニティ助成事業で、町内の各自治会へ次の備品が配布されました。この事業は、宝くじ収益の一部をコミュニティの健全な発達と宝くじの普及広報に役立てるために実施されるものです。

町民の皆さん、コミュニティ備品を大切にご利用ください！！



自治会名	備品名
伊弉	パソコン・プリンタセット
上田原	インクジェット複合機
世名城	ポータブルPAシステム
高良	芝刈機・草刈機
宜次	会議用テーブル・イス
外間	ワイヤレスマイクシステム
友寄	パソコン・プリンタセット
大倉ハイツ	会議用テーブル・イス
屋宜原団地	屋根型テント
県営外間団地	カラオケセット
外間高層住宅	パソコン・プリンタセット
県営屋宜原団地	草刈機、芝刈機、チェンソー
後原	フォールディングテーブル・イス
与座	広報用スピーカー
仲座	会議用テーブル・イス
港川	ワイヤレスマイクシステム
県営大頓団地	草刈機、芝刈機、チェンソー

糸満地区交通安全協会八重瀬支部 協賛金のご協力願い

八重瀬町の運転免許保有者の皆さん、糸満地区交通安全協会八重瀬支部へ協賛金のご協力をお願い申し上げます。

当支部は、糸満警察署内にある糸満地区交通安全協会の下部組織で、事務局は八重瀬町役場総務課内、支部長は八重瀬町長の民間組織です。

糸満警察署と糸満地区交通安全協会の協力と指導のもと、交通状態の改善を図り、交通の円滑と安全を促進することによって町内の交通秩序の確立に貢献することを目的としています。

つきましては、皆さんから徴収した資金と町の補助金により、次の事業を運営していますので、ご主旨をご理解のうえ運転免許保有者1人あたり100円をご協力くださいますようお願いいたします。



交通安全運動出発式等の交通安全啓蒙活動



交通安全施設整備事業

交通安全グッズ等の配布

お問い合わせは

事務局 糸満地区交通安全協会八重瀬支部
(八重瀬町役場総務課内)

☎ 998 - 2200

*ここでいう運転免許とは、自動車運転免許のことで、原動機付自転車は除きます。
*協賛金は、強制、義務ではありません。

汗水節大会を開催することにより、働く喜びを歌い、社会奉仕を説く心を後世に伝えると共に、「汗水節の心」及び原歌による歌い方を提唱し広く普及させることで郷土への関心を高め、地域活性化に役立てることを目的とする。

第6回

「汗水節大会」

出場者募集

日時

平成26年2月2日(日) 13時～(12時集合)

場所

やえせ桜まつり会場 まつり会場特設ステージ
※雨天時は、会場を変更して行う

主催

八重瀬町文化協会

共催

やえせ桜まつり実行委員会

部門

個人の部のみ 出場者は1人とする

応募の条件

町内外問わず、どなたでも参加できます。
曲は「汗水節」の原曲とし指定の楽譜とする。
歌詞(1～6節)の内から3節を選択する。
原曲(指定楽譜)の暗譜で三線による独唱とする。
応募定員20名(定員に達し次第締め切ります。)

応募方法

応募料1,000円(※申し込みの際にお支払いください。)

下記の申し込み用紙に必要事項を記入し期限内に郵送またはFAX提出すること。

応募期間 平成25年12月24日(火)～平成26年1月24日(金)

応募先 八重瀬町文化協会事務局(中央公民館内)
〒901-0401

八重瀬町東風平1014番地

TEL090-4471-9391(玉城) FAX098-998-4254

表彰

(1)表彰は出場者の中から最優秀賞1名、優秀賞3名、奨励賞若干名を選考し賞状及び副賞を授与する。

(2)発表 最優秀賞者はステージ及び次回大会で招待出演として披露する。



平成25年11月28日、具志頭村土地改良区金城秀雄理事長外9名の理事がリーダーとなって、ふるさと農村活性化事業「安里三地区農業施設の現状と環境負荷を学ぶ地域連携清掃活動」を実施し、土地改良地内一体の道路や排水路等の除草やゴミ回収作業を行いました。

八重瀬町の補助金を活用した取り組みで、区内内農家をはじめ、地区に隣接する陸上自衛隊南与座分屯地や那覇ゴルフ倶楽部及び八重瀬町役場職員等、総勢約70名が参加し、4班に別れ作業を実施しました。

金城理事長はあいさつの中で、「農業を取り巻く環境は厳しいものがある。農業は、食料等の供給のみならず、体験学習など



生産と生活の基盤である農地を守り 地域の活性化を図る!



をとおした情操教育の場としての活用や農村風景の提供による癒しの場としての活用など、多面的な機能を有しているが、その重要性があまり理解されていない。

そのような中、農家や地区周辺の事業者及び行政機関等が一体となって活動し、土地改良施設の現状を認識しあい、地域で取り組む事の重要性を啓発するとともにリーダーの育成を図りながら地域の活性化に繋がってきたい」と述べました。

嘱託員・臨時職員（採用予定者）募集

職種（職名）	学習支援員及び特別支援員	幼稚園教諭	コンピューター指導補助員	学校給食調理員
採用条件（資格要件等）	①特別支援員は教員免許（不要） ②学習支援員は教員免許（要）	幼稚園教諭免許	大学・専門学校等（コンピューター専攻） 卒業者（卒業見込含む）	健康で体力のある方 腸内細菌検査に異常のないこと
募集人数	若干名	若干名	若干名	若干名
職務内容	小・中学校における補助教諭、児童生徒の支援	幼稚園における補助教諭等	コンピューターを活用した授業の学習支援等、授業において教員の補助	学校給食の調理等（パート勤務）
賃金	①特別支援員 時給 750 円 ②学習支援員 時給 890 円 ①・②賞与年 2 回	時給 850 円賞与年 2 回	時給 890 円賞与年 2 回	時給 780 円
勤務時間	月～金 8時30分～17時15分まで	月～金 8時30分～17時15分	月～金 各学校による	月～金 週29時間以内（8:30～15:30）
勤務地	町内の小学校・中学校	町内の幼稚園	町内の小学校・中学校	東風平学校給食センター 具志頭学校給食センター
雇用期間	契約日から6カ月（契約更新による雇用期間の延長有）			
加入保険等	社会保険・雇用保険・労災または非常勤公務災害適用			なし
申込方法	①八重瀬町臨時職員等登録申込書（兼登録簿）に必要事項を記入のうえ、学校教育課に提出してください。（顔写真貼付） ②資格免許等が必要な職種は証明するものの写しを添付してください。			
申込期限	平成26年1月31日（金）午後5時まで			
申込用紙	八重瀬町教育委員会学校教育課・東風平庁舎住民窓口にあります。 また、ホームページより様式（PDFデータ）をダウンロードして利用できます。（用紙サイズはA3です）			
採用及び選考	上記、職種において平成26年度中に欠員のため採用が必要な場合に書類選考または面接を行います。			
その他	選考の結果、不採用となられた方についても、臨時職員等登録簿に受付し、その後、欠員のため雇用の必要が生じた場合にはご連絡をさせていただきます。 ※平成26年度臨時職員等登録期間：平成26年4月～平成27年3月31日			

応募・お問い合わせ・学校教育課 ☎ 998-7571 八重瀬町字東風平 192 番地 8 ※受付は、月～金（祝祭日除く）
※上記以外の臨時職員及び嘱託職員（採用予定者）の募集は、2月号で掲載予定です。

国際標準規格 ISO9001:2008 認証取得 預かり金保証制度（国庫補助事業）加入会社

Since1981 沖縄県知事免許(9)第0928号 **地域の不動産業で33年目!**
あなたのホームプランナー

南新物産 ナンちゃん®
不動産管理・賃貸仲介・売買仲介・有効活用相談・相続に関する相談
不動産のことでしたら何なりとお申し付け下さい。
最寄りの各店へお問い合わせをお願いします。
南風原本店・豊見城支店・那覇新都心店

南城支店 〒901-1205 沖縄県南城市大里字高平97番2（イオンタウン南城大里内）
TEL:098(945)0310 FAX:098(944)7004 年中無休 営業時間 月～土 AM 9:00～PM8:00
日・祝 AM10:00～PM7:00
http://www.nanchan.co.jp E-mail ozato@nanchan.co.jp

健康回覧板

つながったおおきな輪（沖縄）の思い



2000年に20万の署名が知事を動かしたことも医療センターの設立が決定しました。その20万の署名を集めたのは、11団体の病気のこどもを持つ親の会がつながりできた「こども病院設立推進協議会」です。もう13年も前のことで覚えていいる方は少ないと思いますが、こども医療センターは、20万以上の県民の「よりよいこども医療の確立」の思いが繋がった結果できたのです。

2008年にこども医療センターが開設され、今ではほとんどの疾患が、県内で治療できるようにになりました。こども医療センター設立後、設立推進協

議会は発展解消し、NPO法人「こども医療支援わらびの会」として新しい活動が始まりました。構成団体の親の会の団体も15に増えています。そして更なる小児医療の充実を目指し活動を続けています。こども医療センターの病院ボランティアの支援活動と遠隔地（離島など）の患者家族のために滞在施設「ファミリーハウスがじゅまるの家」の委託運営を行っています。自らの苦しかった経験から、これからの患者家族が、同じような苦しみを味わっていけないという15の親の会の思いなのです。それは「おもてなし」よりも「よりそう」という思いが本質です。

患者家族の支援は、一人一人に丁寧な支援をすることが大切な時代になってきました。それが上手にいくためには、「つながり」というネットワークが必要になってきます。病院単独では限界を感じ、今まであまり重

要視されてこなかった「つながり」がここに来て注目を集めています。病院と地域社会、医療と福祉、行政と住民などいろいろな「つながり」がしっかりとかかり合わないと全ての支援はうまくいきません。そのために生まれてきたのが、コーディネーターという大切な職業です。しかし小児医療でのこの分野は、まだ始まったばかりで、十分にはできていません。

地域住民の皆様ができることは、「かかりつけ医」、「かかりつけ薬局」を持ち自分自身の「つながり」をしっかりとつづけていくことです。そしていつでもこども医療を良くしたいという小さな思いを持ち続けることです。そして機会があったら反応し、できる協力をしてください。20万県民の思いが繋がってきたこども医療センターも次の段階は、わらびの会ともつながり、住民ともつながり、行政ともつながり、すべて



病院のすぐ近くにできた離島からの患者家族滞在施設「がじゅまるの家」

がつながり大きな輪となって、患者家族への一人一人に合った丁寧な支援をしていくことです。皆の思いが繋がれば、素晴らしい支援体制が構築され、こども医療も益々充実してくると思います。それが次のおおきな輪（沖縄）の思いです。